

～令和3年度事業報告書～

I. 地域で自立生活できる支援づくり

1. 総合相談システムの充実

(1) 専門分野の相談事業

日常生活における町民の相談に対し、民生委員児童委員や介護支援専門員、社会福祉士等の専門職による相談体制の充実を図り、「心配ごと相談」、「介護相談」等を実施しました。

①心配ごと相談

- 民生委員による心配ごと相談を毎月第1金曜日に実施しました。

相談件数：3件

- 社協で開設している「福祉と暮らしの相談窓口」では、住民の生活や福祉についてのアドバイスや情報提供を行うとともに、必要に応じて専門の機関につなげました。

相談件数：57件

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・生活福祉相談：42件
(生活福祉資金37件、緊急支援2件、日常生活自立支援3件)・その他：15件 |
|--|

②介護相談

町からの受託事業である地域包括支援センターにおいて、主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師により総合相談支援業務を行いました。

- ・総合相談：延べ3,882件

(訪問：1,551件、電話2,173件、来所：158件)

2. 地域で生活するためのサービスの提供

(1) 紙おむつ・尿とりパット給付事業

低所得世帯の在宅で寝たきりになっている高齢者等を対象に、紙オムツ、尿とりパットを給付しました。

登録者数：4名

給付回数：延べ12回

(2) 移送サービス事業（町受託事業）

一般の交通機関を利用することが困難な高齢者や障がいのある方の外出時の利便を図るため、病院等への送迎を実施しました。

実利用者数：20名～31名/月

稼働回数：延べ429回

(3) 給食サービス事業（町受託事業）

在宅のひとり暮らし高齢者や高齢者世帯を対象に、ボランティアグループ「ふきのとう老人お楽しみ会」の協力を得て実施する計画でしたが、食事をしながら会話を楽しんだりするため、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施できませんでした。

(4) 配食サービス事業（町受託事業）

在宅のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯を対象に、調理済みの食事（夕食）を提供し、安否確認を行うとともに、孤独感を和らげるため実施しました。

実利用者数：26名～31名/月

配食数：延べ3,892食

(5) 理容・美容サービス事業

在宅の寝たきりの高齢者の方や理容店・美容院の利用が困難な障がい児者を対象に、町の理美容店の協力を得て、自宅に出張して散髪を実施しました。

登録者数：4名

利用回数：延べ3回

(6) 見守りネットワーク事業

ひとり暮らし高齢者等を地域全体で見守っていくため、介護・福祉・医療・行政機関だけでなく、各団体や商店、金融機関等へポスターやチラシを置かせていただくなど呼びかけを実施しました。

(7) レスパイトサービス事業

障がい児者が、施設や学校の長期休暇中にレスパイト事業を実施している団体（まるやまわかくさの会）に対して、事業への支援を実施しました。

開催日	場所	内容
10月19日（火）	横浜方面	参加者：15名

(8) 高齢者等の生きがい事業

●いきいきサロン

高齢者が誰でも自由に参加して自分自身の生きがいと楽しい仲間を見つける場として実施しているが、新型コロナウイルスの関係で7回の実施となりました。

実利用者数：18名～25名/回

●ニコニコ健康体操

高齢者の健康づくり推進事業として実施しているが、新型コロナウイルスの関係で各コース16回の実施となりました。

・火曜日コース 実利用者数：9名～18名/回

・水曜日コース 実利用者数：9名～18名/回

(9) 福祉機材貸し出し事業

- 車いす：13件
- ポータブルトイレ：2件

3. 福祉サービス利用支援と質の向上

(1) 日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

判断能力が十分でない高齢者や障がいのある8名の方に対し、日常的な金銭管理や福祉サービスの利用手続きの援助などを実施しました。

（認知症高齢者：5名 知的障害者：1名 精神障害者：2名）

(2) 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

- ①低所得者世帯に対して、無利子で生活福祉資金を貸し付けました。
（教育支援資金：1件）
- ②新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金の特例貸し付けをしました。
（緊急小口資金：14件 総合支援資金：26件）

(3) 緊急援護貸付事業

一時的に困窮している世帯に対し、経済的自立と生活意欲の助長を目的に資金を貸し付けました。

（緊急援護貸付者：3名）

(4) 成年後見制度・権利擁護事業

令和4年度に足柄上地区1市5町で「(仮称)あしがら成年後見センター」を設置するにあたり、町社協は一次相談窓口となるため、一次相談窓口としてのスキルアップを目的とした研修に出席しました。

(5) 地域包括支援センター事業（町受託事業）

高齢者の暮らしをサポートするため、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員を配置し、必要な介護サービスや保健福祉サービス、その他日常生活支援などの相談に応じました。

- 権利擁護業務：延べ59件
（虐待：7件 権利擁護：50件 消費者被害：2件）
- 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
地域包括ケア会議（10回）、町内ケアマネ会（12回）、地域のケアマネジャーへの支援業務（455件）など
- 介護予防ケアマネジメント業務
介護予防教室利用に関する相談・対応：54件
- 介護のつどい
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

Ⅱ. 共に支え合う社会づくり

1. 地区社協活動の支援

(1) 地区社協活動の支援

地区（住民）福祉協議会（町内8地区）へ助成金を配分し、活動を支援しました。

- 地区福祉協議会助成金 2,300,000 円

助成金の内訳：町 1,700,000 円、社協 600,000 円
人口比、会費徴収比により各地区の配分額を決定

- 地区在宅支援活動費：280,000 円

（活動費の内訳 35,000 円×8 地区）

(2) 地区社協の活動の広報

山北町健康福祉センター西側通路に、地区（住民）福祉協議会の広報紙を掲示できるコーナーを設け、町民の皆さんの目にとまるようにしました。

また、ホームページに広報紙を掲載し、活動情報を広報しました。

2. 小地域福祉活動の充実

(1) 小地域サロン活動への支援

小地域サロン実施団体へ助成金を交付し、活動を支援しました。

交付団体：9団体

交付金額：182,000円

(2) 福祉講演会等の開催

- 役員合同研修会

足柄上地区社協連絡会・西湘地区社協連絡会の共催で開催する計画でしたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止となりました。

- 地域福祉実践交流会

地区社協の役員を対象に開催する計画でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

3. 福祉団体の支援

(1) 福祉団体への助成金交付

町内にある各福祉団体の福祉活動事業に対し、助成金を交付しました。

なお、老人クラブ連合会については、新型コロナウイルスの関係で事業ができなかったため、今年度は助成金の交付はしませんでした。

団体名	助成金
まるやまわかかすの会	30,000円

足柄上郡手をつなぐ育成会山北支部	30,000円
NPO法人KOMNY地域作業所やまなみ工芸	30,000円
ともしびショップさくら	200,000円

(2) 福祉団体活動の活性化を促す協働事業

①世代間交流事業

- ポッチャで遊ぼう（老人クラブ連合会・一般社団法人「あすぽ」共催）

高齢者と子どものふれあいを目的として開催する計画でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

- 収穫祭〔ミニトマト・いも掘り〕（老人クラブ連合会の協力）

老人クラブ連合会の園芸部が、「生きがい農園」で栽培した、さつまいもやミニトマトを、やまきたこども園の園児に収穫してもらいました。

開催日	場所	内 容
7月 6日 (火)	生きがい農園	ミニトマト収穫 参加者：38名 (園児：28名 老人クラブ10名)
7月26日 (月)	生きがい農園	ミニトマト収穫 参加者：27名 (園児：18名 老人クラブ 9名)
10月20日 (水)	生きがい農園	さつまいも収穫 参加者：38名 (園児：28名 老人クラブ10名)

②ともしびショップ「さくら」の支援

健康福祉センターに職員2名を常駐し、運営等の支援を行いました。

③やまぶき学級

「健康で明るく生きがいをもって高齢社会を生きる」ことを目的として、町福祉課、生涯学習課との共催で開催しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員を50名と制限するとともに、4日間に短縮しての実施となりました。

開催日	場所	内 容
10月 8日 (金)	生涯学習センター	<開講式> 講演 ～人権とハンセン病～ 国立ハンセン病資料館 大高俊一郎 氏
10月15日 (金)	生涯学習センター	講話 認知症にならないために 認知症サポーター養成講座 役場保健師・地域包括支援センター職員
10月22日 (金)	生涯学習センター	実技 ～しなやかな心と体づくりのための健康体操～ 神奈川健康財団健康運動指導士
10月29日 (金)	生涯学習センター	芸術鑑賞 ～奇術～ 東京大学奇術愛好会 <閉講式>

※参加者人数：47名（延べ117名）

④民生委員・児童委員活動との協働

民生委員・児童委員連絡協議会へ必要時に出席し、活動の協働を図りました。

4. 福祉人材の育成と確保

(1) ボランティアの発掘と登録

町内のボランティア団体の活動について、町社協広報紙（社協やまきた）に掲載するとともに、ボランティア活動への参加を呼びかけました。

5. ボランティアセンターの充実

(1) ボランティア活動保険への加入促進

町内在住のボランティアに対し、保険料と同等額を助成して、ボランティア保険の加入手続きを行いました。

加入者数：140名 助成額：25,250円

(2) ボランティア団体活動補助金の適切な交付

町社協へ登録している各ボランティアグループに対して事業を実施した分の助成を行いました

◆ボランティアグループ助成（6グループ） 35,000円

(3) 災害時における救援ボランティアの体制整備

災害ボランティアセンターの基本的な役割や被災地の状況、災害時のボランティアの役目等を学び、災害時の活動につなげることを目的に松田町社会福祉協議会と共催で開催しました。

開催日	場所	内容
8月2日 (月)	健康福祉センター	災害ボランティアセンターの運営と住民の関わり 神奈川県共同募金会事務局長 中島孝夫 氏

※参加者数：27名

(山北町20名、松田町7名)

(4) 災害ボランティアセンター研修会

災害ボランティアセンターの役割を学ぶ機会として開催された足柄上地区社協連絡会の「災害ボランティアセンター担当職員等研修会」に参加しました。

開催日	場所	内容
11月17日 (水)	南足柄市りんどう会館	講義：災害ボランティアセンターにおける ICTの活用について ～ボランティア受付方法について学ぶ～

6. 福祉教育の推進

(1) 福祉体験学習

●高齢者施設での体験学習（対象：山北中学校の生徒で希望者）

次代を担う子供たちの福祉への理解や関心を高めることを目的とし、夏休み期間を利用して施設実習する計画でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

●ボランティアによる講座（対象：山北中学校3年生全員）

中学校の福祉教育に協力するため、ボランティアを派遣し、「車椅子講座」、「点字講座」、「手話講座」を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

Ⅲ. 組織・事務局体制の整備

1. 組織体制の強化

(1) 理事会、評議員会、各種部会の定期的開催

①正副会長会

理事会、評議員会が円滑に行えるよう、事前に会長、副会長、事務局で主要な会議の議案についての打ち合わせを3回開催しました。

②理事会・評議員会・監事会

●理事会：執行機関である理事会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月は書面による決議となりましたが、5月、6月及び12月は開催しました。

開催日	会場	内容
5月25日（火）	社協会議室	議案 第1号 令和2年度事業報告について 第2号 令和2年度一般会計決算について 第3号 役員候補者について 第4号 評議員候補者の推薦について 第5号 評議員会の招集について 報告 第1号 会長の職務執行状況について
6月11日（金）	社協会議室	議案 第1号 会長及び副会長の選任について 第2号 部会の構成について 第3号 評議員選任・解任委員の選任について

12月14日(火)	社協会議室	<p>議案</p> <p>第1号 令和3年度一般会計補正予算について</p> <p>第2号 社会福祉法人山北町社会福祉協議会嘱託職員及び非常勤職員の雇用等に関する就業規程の一部を改正する規程の制定について</p> <p>第3号 社会福祉法人山北町社会福祉協議会山北町地域包括支援センターの業務に携わる嘱託職員及び非常勤職員の活動及び賃金等に関する要綱の一部を改正する要綱の制定について</p> <p>第4号 社会福祉法人山北町社会福祉協議会地域福祉活動推進委員会設置要綱の廃止について</p> <p>第5号 評議員会の招集について</p> <p>第6号 第7回社会福祉大会について</p> <p>第7号 顕彰規程による顕彰者の決定について</p> <p>第8号 福祉スローガンの決定について</p> <p>報告</p> <p>第1号 会長の職務執行状況について</p>
3月(書面決議)	決議があったものとみなされた日 3月14日(月)	<p>議案</p> <p>第1号 令和3年度一般会計補正予算について</p> <p>第2号 令和4年度事業計画について</p> <p>第3号 令和4年度一般会計予算について</p> <p>第4号 顕彰規程による顕彰者の決定について</p> <p>第5号 顕彰規程の一部を改正する規程の制定について</p> <p>第6号 評議員候補者の推薦について</p> <p>第7号 決議の省略による評議員会の開催について</p>

●評議員会：議決機関である評議員会は、人数が多いことから、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催する場所がなく、6月、12月及び3月のすべてが書面による決議となりました。

開催日	会場	内容
6月(書面決議)	決議があったものとみなされた日 6月10日(木)	<p>議案</p> <p>第1号 令和2年度事業報告について</p> <p>第2号 令和2年度一般会計決算について</p> <p>第3号 役員の選任について</p>
12月(書面決議)	決議があったものとみなされた日 12月27日(月)	<p>議案</p> <p>第1号 令和3年度一般会計補正予算について</p> <p>報告</p> <p>第1号 第7回社会福祉大会について</p> <p>第2号 顕彰規程による顕彰者の決定について</p> <p>第3号 福祉スローガンの決定について</p>

3月（書面決議） 決議があったものとみなされた日 3月28日（月）	議案 第1号 令和3年度一般会計補正予算について 第2号 令和4年度事業計画について 第3号 令和4年度一般会計予算について 報告 第1号 顕彰規程による顕彰者の決定について
---	--

●監事会：社協事業の実施状況、会計を監査する監事会を開催しました。

開催日	会場	内容
5月14日（金）	社協会議室	1. 令和2年度事業報告について 2. 令和2年度一般会計決算書について

(2) 評議員選任・解任委員会の開催

評議員の選任を行うため、委員会を2回開催しました。

2. 事務局体制の強化

(1) 職員の研修会等

県社協で行っている研修会等に、積極的に出席するとともに、足柄上地区社会福祉協議会連絡会主催の職員研修会に出席しました。

3. 自主財源の確保

(1) 一般会費、賛助会費

賛助会員を増やすため積極的に事業所を訪問し、加入促進に努めました。

一般会員	3,098,000円
団体会員（19団体）	70,000円
賛助会員（167社）	734,000円
合計	3,902,000円

(2) 寄付金

寄付件数：16件（内、物品寄付6件）

寄付金総額：440,106円

(3) 収益的事業

① 広告料

会社数：10社

広告料：50mm×85mm（5,000円） 5社

50mm×55mm（3,000円） 5社

広告料総額：209,000円

②自動販売機

設置場所：山北町健康福祉センター1階&3階、ぐみの木公園

収入総額：398,191円（山北町に支払う電気代を除いた金額）

③マッサージ機

設置場所：山北町健康福祉センターさくらの湯

収入総額：58,000円

④有料駐車場

有料駐車場の場所：社会福祉協議会駐車場の一部

契約台数：5台

収入総額：228,000円

(4) 赤い羽根共同募金、年末たすけあい募金

①赤い羽根共同募金

種別	金額	内容
個別募金	676,300円	各家庭に協力いただいた募金
法人募金	285,000円	賛助会員（事業所など）に協力いただいた募金
職域募金	28,791円	役場の職員の方々に協力いただいた募金
学校募金	19,235円	町内の小・中学校と山北高校に協力いただいた募金
募金箱	8,399円	役場や社協の窓口に設置した募金箱に入れていただいた募金
その他	4,000円	クレジットカード等により協力いただいた募金
計	1,021,725円	

※上記募金額の約50%が配分され収入となる。

②年末たすけあい募金

戸別募金：676,800円

4. 広報・公聴・啓発活動の充実

(1) 広報紙「社協やまきた」

広報紙「社協やまきた」を発行（毎月1回、年間12回発行）

社協事業（地域福祉活動）の周知や実施事業の紹介と報告、福祉情報の提供等を目的として毎月1回発行し、全世帯、賛助会員、関係機関等に配布しました。

(2) ホームページ

平成23年に職員が開設してから約10年使用していることもあり、利用しにくい所や見にくいところが出てきていることから、見やすく、さらに充実した内容とするため、リニューアルしました。

(3) 社会福祉大会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

(4) 福祉スローガン

町民の福祉に対する意識の向上を目的として、福祉スローガンの募集と選定を行い、次のとおり受賞者（最優秀賞1名、優秀賞2名）が決定しました。

<応募件数>

小学生：115名（121編）

中学生：171名（174編）

一般：1名（4編）

合計：287名（299編）

<最優秀賞>

「小さな手 大きな手 つないで優しい 福祉の手」

山北地区 剣持 奈保枝 さん

<優秀賞>

「声かける みんなができる 思いやり」

川村小学校5年 磯崎 稜太 さん

<優秀賞>

「あいさつで つながり広がる 笑顔の輪」

山北中学校2年 石田 佳希 さん